

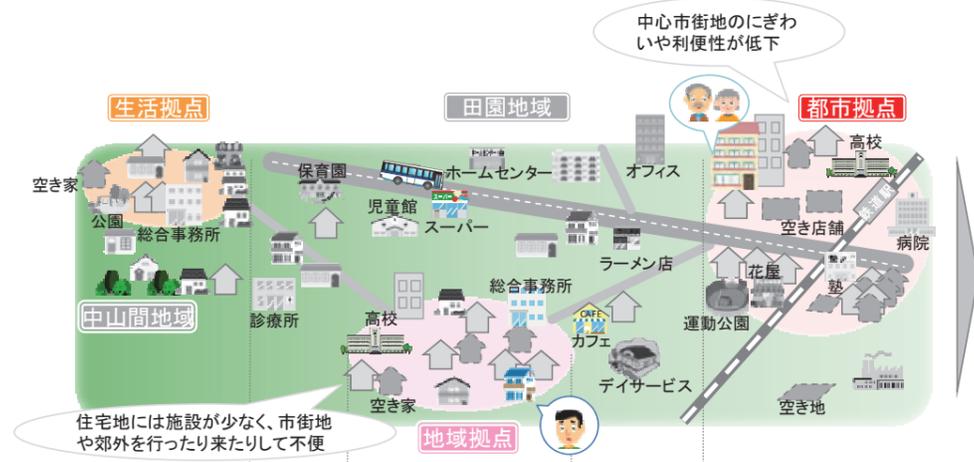
コラム 3 上越市が目指す将来の暮らしの姿のイメージ

都市拠点・地域拠点の場合

現状

将来

まちのすがた



住民の声

<都市拠点>

A 子育てを終えた老夫婦

昔は駅前にお店がたくさんあって、便利でにぎやかだった。今では空き店舗が増えて、車で郊外まで買い物に行かなくてはならない。不便だな。

B 市内への居住を考える若い夫婦

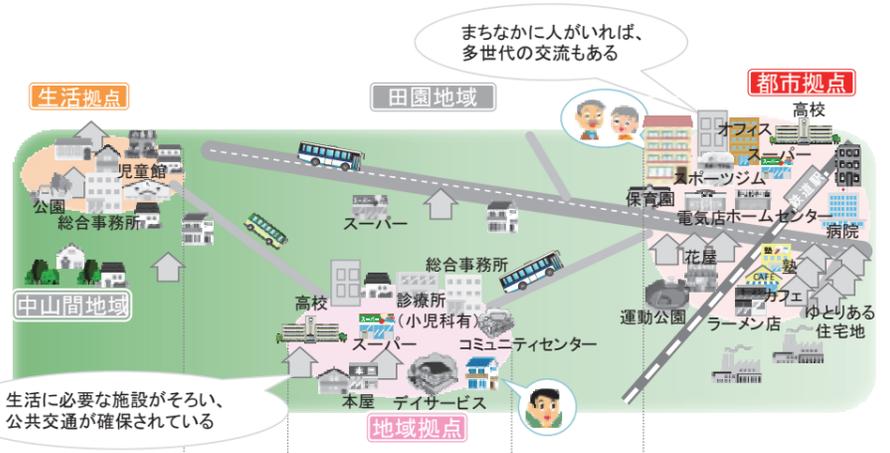
駅前に住む親が家を譲ってくれると言うけれど、道は狭いしまちは古い魅力を感じない…。それなら車が使しやすい郊外に住もうかな…。

<地域拠点>

C 受験生の子を持つ家庭の父親

通勤に、こどもの習い事の送り迎え、買い物など、車で行ったり来たりで疲れるな…。車がないと不便だし…。施設がまとまってあったらいいのにな…。

第3章 全体構想



<都市拠点>

A 子育てを終えた老夫婦

安全・安心に移動できる道路や便利な公共交通があり、住宅地の近辺に食品店など日常生活に必要なお店がある。人が集まりにぎやかで、便利に暮らせる。

B 市内への居住を考える若い夫婦

まちなかの道路が広がり車がすれ違いもできて移動しやすくなったし、日常生活の買い物は便利だし、駅前に引っ越してよかった！

<地域拠点>

C 受験生の子を持つ家庭の父親

まちなかで用事が済み、子どもの送り迎えや買い物もしやすい。空き時間に休むこともできるし、時間を有効に活用できる！

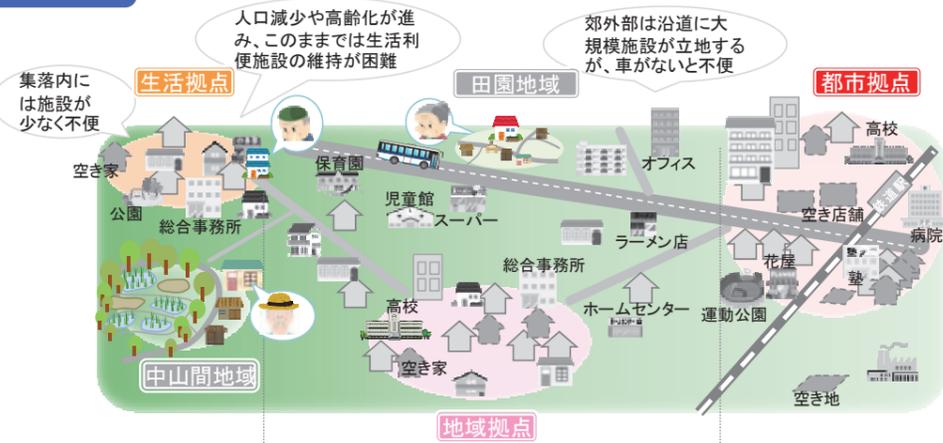
コラム 3 上越市が目指す将来の暮らしの姿のイメージ

生活拠点・集落の場合

現状

将来

まちのすがた



<生活拠点> 以前は近くに医者がいたけれど、人が減って出て行ってしまった。今では市街地の病院までいかななくてはならないが、路線バスだと不便で1日がかかりだし、車が手放せない。将来が不安だ...

D 娘夫婦と同居する高齢者

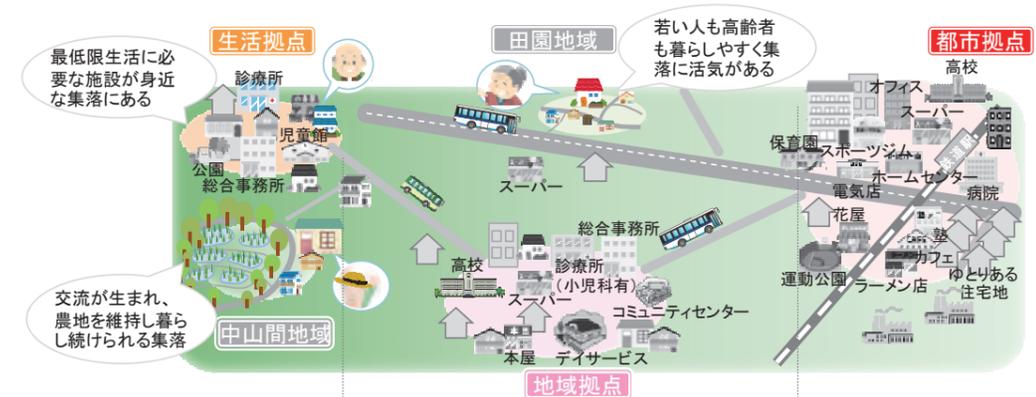
<田園地域の集落> 若者が減って活気がなくなってきた。祭りなどの住民同士の共同活動も減った。集落に新しく住んでくれる人はいないかな... 高齢化も進んでいて、助け合うにも限界がある...

E 一人暮らしのおばあちゃん

<中山間地域の集落> 棚田はこの地域を代表する景観で、全国に自慢できる。でも、耕作放棄地が増えてきているし、この先維持続けられるか不安だ... 高齢化も進んでいて、町場に引っ越し人もいる。今はお互い助け合いながら暮らしているが、いつまでこの生活が続けられるか不安だ。

F 一人暮らしのおじいちゃん

住民の声



<生活拠点> 近くの拠点に医者がいてくれるから、わざわざ市街地に行かなくてもいいし、自分の運転でもいける。診療所まではコミュニティバスやデマンドタクシーなどによりアクセスが確保されているから、何かあっても安心できる。

D 娘夫婦と同居する高齢者

<田園地域の集落> 集落にある空き家に、若い家族が引っ越してきた子どももいるし、集落に活気がうまれた！

E 一人暮らしのおばあちゃん

<中山間地域の集落> 景観が保全され、観光客がきてくれる。都会から田舎体験で子どもたちも来てくれるし、交流もうまれて生活にいきがいをもてる。草刈りや雪下ろしなど、ボランティアに来てくれる人も増え、毎日充実した暮らしができる！

F 一人暮らしのおじいちゃん

第2節 まちづくりの基本方針

ここでは、上越市が目指す将来都市像、将来都市構造の実現に向けて、商業・工業や農業、観光、防災など様々な分野で連携して進めるまちづくりの基本方針を示します。

1 活力のあふれるまちづくりの推進

- 陸・海の交通ネットワークを活かし、上越地域の交通の要衝にふさわしい快適で充実したまちづくりを推進します。
- 幹線道路*、生活道路*、下水道、都市公園*、ごみ処理場などの都市基盤*の効率的・効果的な整備や維持管理を推進し、住み続けられる環境の形成を目指します。
- 市内の工業・物流集積地や、これまで整備された産業団地などの既存の産業基盤を活用しながら、地域の雇用や産業規模の維持を目指します。
- 社会経済情勢などの時代に応じて変化する市民ニーズに柔軟に対応し、活力ある市民生活を持続的に支えるまちづくりを推進します。
- 長期的な見通しの下、厳しい財政状況を踏まえた財政投資・運用により、効率的・計画的な都市行政の運営を目指します。

2 拠点とネットワークを強化するまちづくりの推進

- 市内の円滑かつ安全・安心な交通環境の維持・形成を進めます。
- 拠点同士のネットワークの形成により、地域間交流を促進させ、総合力の高いまちを目指します。
- 冬期間の安全・安心な道路空間を確保するため、雪国の特性に配慮する交通ネットワークの形成を推進します。

3 豊かな田園・自然と共生するまちづくりの推進

- 上越市の特徴である豊かで優良な農地を次世代に引き継ぎ、良好な景観と農業生産の維持を目指します。
- 多面的な機能を有する森林地域を保全し、自然環境と調和した生活や生産機能の確保を目指します。
- 自然環境の維持保全や限りある資源の有効活用に取り組み、環境にやさしいまちづくりを目指します。
- 地勢・気候に起因する「雪」を本市の強みとして、克・利・親雪に取り組みます。

4 災害に強いまちづくりの推進

- 雪災害、土砂災害などによる被害を軽減し、市民の安全・安心を確保するため、官民連携により災害に強いまちづくりを目指します。
- 大規模災害への備えや市民の防災意識向上を図り、市民が安全・安心に暮らし続けられるまちづくりを推進します。